



プログラム名	焼き板作り		時間	2～3時間
ねらい	1 豊かな創造性を養うとともに、手作りの喜びを味わう。 2 少年自然の家での活動の思い出とする。			
内容	スギ板を焼いて、自分の思う絵や字をアクリル絵の具で描いて作品を製作する活動			
対象	小学生以上	活動形態	個人	
活動可能人数	100名程度	料金	1人250円	
団体で準備する物	個人・・・軍手、マスク、新聞紙			
自然の家で準備できる物	スギ板、ひも、ヒートン、アクリル絵の具用品一式、雑巾、たわし、布、火ばさみ、薪、きり、雑巾			
活動の流れ	1 集合 <ul style="list-style-type: none"> ・指定された場所に集合（入所時に確認） ・参加人員と健康状態の把握 2 事前指導【自然の家職員 約15分】 <ul style="list-style-type: none"> ・道具の準備 ※事前に職員が薪の火おこしをしておく→開始後は指導者が管理 ・説明および諸注意 実施方法、安全、マナー 等 3 活動 <ul style="list-style-type: none"> ①各自スギ板と火ばさみを受け取り板全体を平均して真っ黒に焼く <ul style="list-style-type: none"> ○片面だけの焼きすぎに注意する ○かまど数は限られているので1かまどに6～8人ずつ順に焼いていく ②焼いた板を地面に置き、たわしで板の炭を落とす <ul style="list-style-type: none"> ○灰が舞うのでマスクをするとよい ③乾いた布で表面をみがく ④きりで軽く二か所に穴を開け、ヒートンを押しながら回しつける ⑤板の焼き面を残しながら好きな絵や字をアクリル絵の具で描く <ul style="list-style-type: none"> ○アクリル絵の具は色塗りに水を使用しない ○机には必ず新聞を敷くこと ○絵の具ケースの色が混ざらないよう使用する ○一色ずつ乾かしながら色塗りをすると良い ⑥ひもをつけて所定の場所に吊るし乾かす ⑦片付け <ul style="list-style-type: none"> ○アクリル絵の具のふた閉めの確認、筆の洗い確認は各団体の責任で行う ○机は雑巾で拭き、周辺の絵の具の汚れ等ないか確認する ○使用したものは一か所にまとめる 			
				
留意点	1 板は、裏表が同じように焼けるようにまめに返す 2 焼きすぎないように気をつける 3 焼いた板は他のものに炭の汚れが移らないように、たわしや布でよくみがく 4 火を扱うので、ヤケドに注意する 5 創作活動であるため、十分な時間の確保が必要			
引率者の役割	薪の補充・管理、用具の管理、制作指導			

